



南九州市の 防災拠点施設として ～南九州消防署～

穎娃分遣所と川辺分遣所を管轄する南九州消防署が、本年4月より運用を開始しました。充実した設備を備え、さまざまな救助要請に対応する救助隊が配置されているこの消防署は、南九州市の防災拠点施設として市民の皆さまの安心と安全を守ります。



南九州消防署の概要

名称＝指宿南九州消防組合南九州消防署
所在地＝南九州市知覧町郡 17363 番地
敷地面積＝ 10,099.15 m²
建築面積＝ 1,481.08 m²
延床面積＝ 2,595.56 m²

- 庁舎塔
鉄筋コンクリート造 2階建て
建築面積 1,225.24 m²
延床面積 2,088.48 m²
- 訓練塔（主塔）
鉄筋コンクリート造 4階建て
建築面積 79.37 m²
延床面積 227.85 m²
- 訓練塔（副塔・補助塔）
建築面積 176.47 m²
延床面積 279.23 m²
- 事業費 781,766,400 円



平木場 幸 南九州消防署長

これからも、市民の皆さまの安心・安全へ寄与できますように、なお一層の努力をして、消防団、市役所、警察など、関係機関と連携しながら、南九州市の防災体制の構築に努める所存でありますので、皆さま方のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

このようなことから、南九州市の防災拠点、ひいては県下の防災拠点のひとつとして、重要な役割を果たさなければならぬ責任を感じております。

折しも、4月の熊本地震では、総務省の要請により、即日に救助隊を、2日後には救急隊を緊急援助隊として派遣し、被災地での活動を行っております。

この消防署には、ドクターヘリが着陸できるヘリポートも備えており、さらには訓練塔を併設し、消防職員の災害対応へのスキルアップを図るとともに、新たに救助工作車を配備して、救命・救助活動への要請に速やかな対応が可能となりました。

安心・安全な
まちづくりのために

南九州消防署の消防車・救急車

南九州消防署では、救助工作車1台、水槽付きポンプ車1台、高規格救急車2台を配備し、さまざまな救命・救助活動を行います。

救助工作車

救助工作車は救助隊員が搭乗し、ウインチ、クレーン、照明装置のほか、多様化する災害の制圧、救助のために最新の資機材を装備した消防車です。

「救助工作車」に装備されている救助資機材の一部



▲ガス溶断器

各種金属を素早く溶解、切断することができる万能型の切断装置。



▲クレーン

高所や低所からの救出や、重量物の排除などに使用します。



▲大型油圧救助器具

交通事故で変形した車などを解体し、閉じ込められた人を救出します。



▲チェーンソー・エンジンカッター

木材、石材、コンクリート、鉄などの切断ができます。



▲車載用伸縮式照明装置

4000ワット相当の超高輝度LED照明で、伸縮、起伏、旋回がリモコンで操作できます。



▲マット型空気ジャッキ

25ミリの隙間があれば挿入でき、圧縮空気で最大21トンまで持ち上げられます。



高規格救急車

高規格救急車は、救急救命士や救急隊員が搭乗し、応急処置や救急救命士の行う救急処置が十分にできるよう、従来の救急車に比べて活動しやすい車内空間と、最新式のAED（自動対外式除細動器）や自動心臓マッサージ器など必要な救急資器材を積載し、迅速で適切な救急対応が可能になっています。



水槽付きポンプ車

水槽付きポンプ車は、消防ポンプ車に2000リットルの消火用の水タンクを積載している車両です。火災の時、消火栓や防火水槽を使用することなく、火元まで車両で近づき、素早く消火を開始することができます。

消防隊員の訓練

あらゆる災害に備え、さまざまな救助訓練に日々励んでいます。



▲引揚救助訓練

空気呼吸器をつけた2人が、地上から低い場所へ降下し要救助者を救出した後、地上の2人と協力して引き上げ、救助、脱出する4人一組の訓練。



▲ほふく救出訓練

空気呼吸器と命綱をつけた1人が、煙道から要救助者を探し出し屋外に救出した後、2人で協力して要救助者を搬送する2人一組の訓練。



▲障害突破訓練

4人が緊密な連携のもと、一致協力して「乗り越える」「登る」「渡る」「降りる」「濃煙を通過する」の基本動作で、5つの障害を突破するさまざまな災害現場を想定した4人一組の訓練。



▲濃煙熱気進入訓練

火災時における濃煙内での救助活動は、最も危険を伴いますが、最も重要な救助活動の一つです。空気呼吸器をつけ要救助者を探し出し、災害場所から安全な場所へ搬送します。



▲マンホール救出訓練

縦穴のマンホールなどから要救助者を救出する訓練。携帯用の三脚を使用して支持点を作り、ロープや滑車を使い引き上げます。

119番のかけ方 ~あわてず落ち着いて~

火災編

- 消防** 「はい、119番消防です。火事ですか？救急ですか？」
通報者 「火事です。」
消防 「場所はどこですか？近くに目印になる建物がありますか？」
通報者 「南九州市〇〇町〇〇〇〇番地〇〇宅です。（住所・場所が分からないときは、目印になる建物や目標物を教えてください）」
消防 「何が燃えていますか？」
通報者 「家が燃えています。（なるべく具体的に、車・林など）」
消防 「逃げ遅れた人、ケガをした人がいますか？」
通報者 「いません。（逃げ遅れた人や、ケガ人の情報は重要です!）」
消防 「あなたのお名前、電話番号を教えてください。」
通報者 「〇〇です。電話番号は〇〇-〇〇〇〇です。」

救急編

- 消防** 「はい、119番消防です。火事ですか？救急ですか？」
通報者 「救急です。」
消防 「場所はどこですか？近くに目印になる建物がありますか？」
通報者 「南九州市〇〇町〇〇〇〇番地〇〇宅です。（住所・場所が分からないときは、目印になる建物や目標物を教えてください）」
消防 「誰がどうしましたか？年齢、性別は？」
通報者 「〇〇が胸を痛がっています。40歳、男性です。」
消防 「既往歴・かかりつけの病院を教えてください。」
通報者 「既往歴は心筋梗塞です。かかりつけの病院は〇〇病院です。」
消防 「あなたのお名前、電話番号を教えてください。」
通報者 「〇〇です。電話番号は〇〇-〇〇〇〇です。」

※音声(言葉)での通報が困難な場合は、FAX(ファックス)で119番通報することができます。詳しくは指宿南九州消防組合までお問い合わせください。

【お問い合わせ】 指宿南九州消防組合 南九州消防署 ☎ 0993-83-2222

※通報時に「サイレンを鳴らさないで来て」という声もありますが、緊急車両は赤色灯を点けてサイレンを鳴らさなければ緊急走行できません。サイレンは緊急性を意味しており患者さんの命もかかっていますので、一刻も早く到着し病院へ送り届けなくてはなりません。ご理解をお願いします。また、緊急性のない患者さんの搬送についてはお近くの福祉タクシーまたは介護タクシーをご利用ください。